

次の桜島大噴火時の降灰を予想する～上空に吹く風の研究 II ～

Predicting ash falls during the next large eruption of Sakurajima Volcano -Study of wind blowing in the sky II-

*冷水 和哉¹、*中釜 章人¹、古江 悠真¹、山迫 真朱¹、中島 絢花¹、山口 琥珀¹、野田 竜馬¹

*Kazuya Hiyamizu¹, *Akito Nakagama¹, Yuma Furue¹, Masyu Yamasako¹, Ayaka Nakashima¹, Kohaku Yamaguchi¹, Ryoma Noda¹

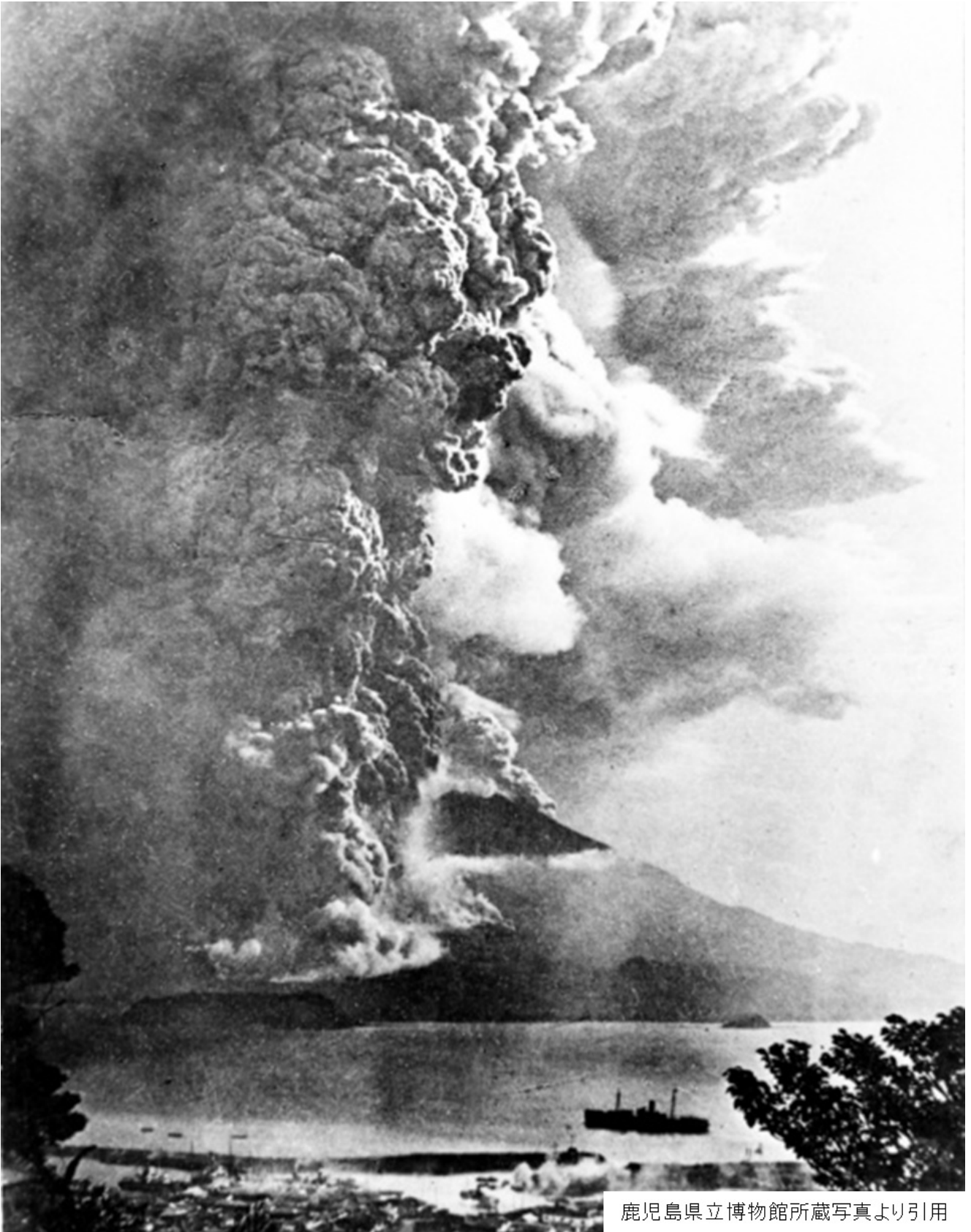
1. 鹿児島県立国分高等学校

1. Kokubu High School

我々が住んでいる霧島市の近くには、現在も活発に活動する桜島がある。現在、桜島の火山活動は降灰を伴う噴火活動が中心である。今から109年前に起こった大正大噴火時は、桜島やその東側の大隅半島に多量の降灰が降り、大きな被害となった。このレベルの大噴火は、近い将来桜島で起こると予想されており、その際の降灰分布予想が公表されているが、我々はこの予想図をより詳細にすることを研究した。そこで、直近の桜島上空の風向きの傾向を、鹿児島地方気象台が公表しているデータを用いて分析と考察を行った。その結果、季節毎に降灰の方向に特徴が見られることが分かった。

キーワード：桜島、降灰、風向き

Keywords: sakurajima volcano, ash fall, wind direction



鹿児島県立博物館所蔵写真より引用